



申14号「2021年度年末手当等に関する申し入れ」 第1回団体交渉開催！その1

JR 東労組の要求について趣旨説明を行い、満額回答を求める！

私たちの要求の根拠！

- 新型コロナウイルス感染症拡大から間もなく2年が経過するなか、全組合員・社員が社会インフラとしての使命を果たしてきた。
- 「命」を最大の価値基軸として安全を第一に、安定輸送と安心の提供、サービス品質の維持向上に向けて業務を遂行し、変化に対応すべく各種施策についても向き合っている。
- 激甚化する自然災害や異常時に対しても JR 東日本グループ総力をあげた対応に徹してきた。
- 労働組合として組合員の雇用と利益を守るため、健全な経営基盤を構築し業績回復に向け、創造的な取り組みを積み上げてきた。家族も支えている。

厳しい環境下においても奮闘し続けてきた結果、
赤字決算とはいえ収入を確保し、
昨年に比べ業績は回復していることを
重要視して、満額回答すべきだ！



【会社が示した現状認識】

- ✓ コロナ感染防止対策に日々尽力、地震や変電所火災対応など社会的使命、変化の時期に果敢にチャレンジしていただいていることに感謝。
- ✓ 前年度比では増収となっているが過去2番目に低い営業収益・運輸収入。
- ✓ 足元の10月を見ても緊急事態宣言が解除されたが、コロナ前と比較して前々年比定期外収入約70%であり、想定80%に届いていない。
- ✓ 変革2027実現に向けた取り組みのレベルとスピードを上げていく。
- ✓ 企業の持続的な成長が社員・家族の幸福の実現につながるという好循環を生み出していきたい。
- ✓ 赤字で業績予想を下方修正した厳しい経営環境と直面する経営課題について認識の共有を図ることが議論の前提になる。
- ✓ 支給水準は極めて慎重に、総合的に判断していく。
- ✓ 一部マスコミ報道については、コスト削減の一般論として述べたもの。年末手当について労使で真摯に議論した上で決定していくことに変わりはない。

申し入れして会社と議論できるのは
労働組合だけです！

その2へ続く

職場からのたたかいで、要求満額獲得を勝ち取ろう！